

久喜市あゆみの郷 事業報告

令和2年度事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

1 実施事業

(1) 定員と現員

令和3年3月31日現在

事業名	定員	現員
生活介護	定員15名	17名（男性12名、女性5名）
就労継続支援B型	定員15名	17名（男性10名、女性7名）

(2) 利用者の状況

ア 年齢構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	平均
生活介護	0	7	4	3	0	3	38.5歳
就労継続	0	7	5	3	2	0	34.2歳
計	0	14	9	6	2	3	36.3歳

イ 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	計
生活介護	0	0	4	3	6	4	0	17人
就労継続	0	1	7	4	0	0	5	17人
計	0	1	11	7	6	4	5	34人

ウ 療育手帳の所持状況

	㊤	A	B	C	なし	計
生活介護	9	4	3	0	1	17人
就労継続	1	7	5	2	2	17人
計	10	11	8	2	3	34人

エ 利用率の状況

(ア) 生活介護

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	19	22	22	20	21	23	20	20	19	18	23	248日
延利用者数	270	249	312	300	263	291	314	274	264	257	246	322	3,364人
利用率	86	87	94	91	88	92	91	91	89	90	91	93	91.3%

(イ) 就労継続支援B型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	19	22	22	20	21	23	20	20	19	18	23	248日
延利用者数	319	273	342	330	303	317	356	314	285	257	261	317	3,674人
利用率	84	95	104	100	101	100	103	104	95	90	96	92	98.5%

生活介護は、一部の利用者又は家族の体調等の不良で利用できていません。相談センター等と協働で取り組みましたが、通所できない事が多かったです。就労継続支援B型事業の利用率は98.5%となりました。年度の後半は、新型コロナウイルスの関係で利用率が下がっています。

(3) 職員体制

職 種	配置人数	備 考
施設長	1	サービス管理責任者兼務
主任生活支援員	1	生活介護（運転業務兼務）
生活支援員（生活介護）	6	運転業務兼務 2名
生活支援員（就労継続）	2	
目標工賃達成指導員	1	就労継続支援B型
看護師	1	生活介護
事務員	1	
計	13	

2 重点実施事項

(1) 一人ひとりの能力や適性に応じた支援

アセスメントに基づいて、一人ひとりの適性に合わせた支援を行いました。また、本人の希望を聞き取り可能な限り実現に向けた支援を行いました。就労支援B型の利用者には、実習の機会や就職に向けた実習を行うことができました。

(2) 工賃の維持向上のための支援

コロナ禍の中、途切れなく作業を行う事が出来ましたが、受注する品、数量共に減少しており令和元年の作業工賃を維持することは出来ませんでした。現在もコロナ禍で出荷数自体が減少してしまい受注できていない会社がある状況です。今後、令和元年度まで戻すことを目標に置きますが、具体的な策は模索中です。

3 事業報告

(1) 利用者支援（生活介護・就労継続支援B型 共通事項）

ア 日常生活支援

利用者それぞれのニーズや状況によって、きめ細かな支援を取り組みました。問題が発生した際もすぐに対応策を検討して、必要に応じて家族に連絡を取りました。その結果利用者アンケートを実施しても支援に満足しているという意見が多く聞くことが出来ました。

イ 社会生活支援

(ア) 4つの部活動がありますが、感染状況を確認しながらの実施のため例年に比べて、施設外での活動や講師を招いて行う活動は減少しました。利用者からは、やって欲しいとの要望はありますが、引き続き感染状況を確認しながら実施の有無を判断して行きます。

(イ) 利用者自治会活動を行っています。自分達で「考え」「話し合い」「決めて」「実行」する取り組みを行いました。各イベントの企画を職員と一緒に考えて実行しています。しかし、新型コロナウイルス感染予防のため、あゆみの郷まつりをはじめ多くの行事が中止になっているので活動が十分に出来ませんでした。

ウ 健康管理に関する支援

(ア) 健康診断（1回）と保菌検査（1回）を行いました。いずれも特変はありません。

せんでした。今年度も健康診断は嘱託医の所属する医療機関で実施しました。
(イ) 家族の承諾を得たうえで職員の同行を必要とする利用者には通院同行を行いました。日中の様子を正確に情報交換することによって受診の効果が多く出ています。

(ウ) 12月に新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。感染者数は、59名（利用者28名、職員11名、家族等20名）でした。入院等が必要で一時症状が重く出た人もいましたが、現在は健康を取り戻しています。あゆみの郷では、この経験を踏まえ感染前に増して予防対策に力を入れています。

エ 権利擁護に関する支援

(ア) 虐待防止の徹底をしました。利用者の対応方法をすべての職員が共有できる環境づくりを行いました。個別の対応が必要な場合は、次の日には持ち越さないでその日のうちに方針を出していくことを行いました。

(イ) 事業所内で権利擁護や虐待防止に関わる研修を行いました。

(2) サービスの提供

ア 生活介護

(ア) 日常生活支援

個々の行動特性や相性など加味して落ち着いて作業が出来るように、パーテーション、着座場所等を工夫することで、大きな声を出したり、他害をしたりすることが減少しました。

年齢、身体機能を考慮して作業班のメンバー構成を変更しました。室内を中心にゆっくり作業に取り組める班と缶やペットボトルのリサイクル作業、農耕作業とアクティブに活動できる班を細分化しました。

(イ) 作業活動支援

生活介護での内職作業はコロナ禍の影響をあまり受けず途切れなく順調に納入されてきています。自主製品、農耕作業による収穫した野菜は、施設前に設置した無人販売所、週1回木曜日に鷺宮総合支所内、きっちん・こすもす内で販売を行いました。

毎月の工賃収入額は下表のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入額	72,014円	60,306円	56,912円	85,672円	47,444円	63,871円
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
58,987円	79,517円	59,644円	30,740円	29,865円	32,566円	677,538円

(ウ) 社会活動支援

軽運動（レクリエーション）や買い物外出等を実施しました。各誕生日行っていた外食は新型コロナウイルス感染予防のため実施できませんでした。

イ 就労継続支援B型

(ア) 社会生活支援

課題が多かったり、複数の機関が関わったりする人に対して、関係機関協働で支援を行いました。医療機関が加わることで安定して通う事が出来るようになった事例がありました。

施設外就労で「きっちんこすもす（喫茶店）」のホールで実習をしています。ホールでの作業に適した整容のアドバイスを通じて、日々の身だしなみなどの改善が見られたり、多くの地域のお客さんとの交流しており更にかかわりが広がりを見せました。

(イ) 一般就労への支援

就職を希望する、聴覚と知的障害を併せ持つ利用者に対して、埼玉県庁（人事課）内に新設された定型業務を業務集約した部署（スマートステーション）での採用に応募しました。2次審査の実習までは行きましたが採用には至りませんでした。しかし、本人の大きな自信になりました。今後も一般就労のチャレンジを続けていく予定です。

(ウ) 作業活動支援

工賃収入が大きく下がりました。コロナ禍の中、途切れなく作業を行う事が出来ましたが、受注する品、数量共に減少しており令和元年の作業工賃を維持することは出来ませんでした。現在もコロナ禍で出荷数自体が減少してしまい受注できていない会社がある状況です。今後、令和元年度まで戻すことを目標に置きますが、具体的な策は模索中です。

毎月の工賃収入額は下表のとおりです。

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入額	212,245円	265,002円	248,153円	232,729円	246,560円	259,498円
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
213,805円	224,574円	183,756円	203,161円	180,158円	152,346円	2,621,987円

(3) 働きやすい職場づくり

ア 個々の職員同士が日々のコミュニケーションを取れるような環境づくりを行いました。主に夕会を通じて、支援の仕方などがすぐに検討したり、確認したり出来るように意見交換場をその都度行いました。

イ 年次有給休暇を5日以上取得できるように促進しました。結果、平均7.6日の取得が出来ました。

(4) 人材育成

内部研修を重点に支援の質の向上を目指して努力しました。日々の支援の在り方の見直しや意識の向上、専門性を高めるための支援スキルの獲得に努力しました。外部研修については新型コロナウイルス感染予防の為、例年より参加回数は減少しました。

研修名	主催者	日付	参加者
就労支援フォーラム NIPPON	日本財団	令和2年8月24日 ～26日（オンライン研修）	桜井
風水災リスクマネジメント セミナー	埼玉県発達障害福祉協会	令和2年11月6日 （オンライン研修）	桜井
介護の日記念研修 ～認知症×発達障害～	埼玉県社会福祉協議会	令和2年11月11日、 13日（オンライン研修）	支援員 全員

就労支援フォーラム NIPPON フクオカ	日本財団	令和2年11月18日 (オンライン研修)	桜井
財務管理担当者研修 Aコース	埼玉県社会福祉協議会	令和2年11月中 (オンライン研修)	南 桜井
新型コロナウイルス感染症 対策研修	埼玉県障害者支援	令和3年1月29日 (オンライン研修)	桜井

(5) リスク管理

- ア 避難訓練を3回実施しました。想定は火災だけではなく、地震や竜巻などの災害も想定して実施しています。
- イ 洪水被害の勉強会を行いました。避難場所等の確認をしました。また、久喜警察署協力のもと行っている交通安全研修は、コロナウイルス感染予防のため今年度は中止になりました。

(6) 地域交流

- ア 地域行事、あゆみの郷まつりは、新型コロナウイルス感染予防の為すべて中止となりました。
- イ 施設の前にアルミ缶置き場を設置していましたが更に段ボール置き場を設置し地域の自治会を通じPRを行いました。たくさんの方が毎日のように持ってきてもらっています。
- ウ 「あゆみだより」を年3回発行しました。
- エ 実習生、ボランティアの受け入れについては次のとおりです。

(ア) 施設現場実習の受入れ

期 間	所 属	人数	延べ日数
令和2年8月3日 ～令和2年8月17日の間	国際学院埼玉短期大学 (幼児保育学科)	1	10日間

(イ) 進路体験実習の受入れ

期 間	所 属	人数	延べ日数
令和2年10月26日 ～令和2年10月30日の間	久喜特別支援学校	1	5日間

(ウ) ボランティアの協力

延べ人数、474名（令和元年628名）が協力していただきました。今年度は新型コロナウイルス感染予防の為感染状況を踏まえた受入れを行いました。植栽や畑の管理等は、利用者と接する機会が少ないので通年で行っていただきました。

(7) 事業運営

ア 自主事業

- (ア) 送迎サービスを行っています。3便、17名が送迎サービスを利用しています。
- (イ) 日中一時の受け入れを行いました。行動障害が激しい事に加え、母親の疾病により家族の支援力が低下してしまった方の受け入れを行いました。体型も大

きくパニックになると嘔みつく、などの他害行為になる事がありました。相談センター等と連携して適切な医療が受けられた事で以前よりも情緒が安定しました。年末に母親が亡くなり家で支援することが困難となり緊急で入所施設を探していました。現在は、入所施設で暮らしています。